

# 修了評価の方法（通学制）

市進ケア教育研究所

	確認・評価方法	理解度・合格基準	理解不足・不合格の取り扱い
①各科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出席簿により出欠を確認する。</li> <li>○講義の理解度の確認のため、講義の最後でチェックテストを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各科目のすべての実施時間に参加していること。</li> <li>○シラバスの各科目の修了時の評価ポイントに達していること。</li> <li>○すべての講義のチェックテストを実施していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○やむを得ず欠席した場合は補講を受講すること。</li> <li>○理解度が不足していると認められる場合は、講師による指導・助言を行うが、必要に応じて補講等を行う。</li> </ul>
②介護技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科目9内において、各々の項目の介護技術の習得度合いについて、「できている」「概ねできている」「できていない」の三段階で評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「できている」「概ねできている」に該当していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理解度が不足していると認められる場合もしくは「できていない」に該当した場合講師が実技指導を行うが、必要に応じて補講等を行い、「できている」「概ねできている」レベルまで技術を習得させる。</li> </ul>
	<p>&lt;実技・口答試験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○科目9の最終日に、1人7分程度実施し、「評価マニュアル」に沿って介護技術の習得度合いについて総合的に評価を行う。</li> </ul>	<p>&lt;実技・口答試験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実技・口答試験合わせて70%以上の正答率を合格ラインとする。</li> </ul>	<p>&lt;実技・口答試験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○理解度が不足していると認められる場合もしくは70%の正答率に満たない場合、講師が実技指導・助言を行うが、必要に応じて補講等を行う。</li> </ul>
③修了試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全科目の課程を修了した後に実施する。</li> <li>○1時間程度の筆記試験を実施し、担当講師が評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全科目の課程を修了していること。</li> <li>○75%以上の正答率を合格ラインとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正答率が75%に満たない場合、必要に応じて補講等を行い、再試験を実施し、受講生の理解度を図る。</li> </ul>
④修了認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上記①～③の確認・評価を元に総合的に判断して認定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上記①～③の理解度・合格基準を満たしていること。</li> </ul>	